

学びの宝庫、飯田

～ 大学生からのメッセージ ～

No.38

飯田の人と自然が織りなす育み合い

東京大学大学院教育学研究科修士2年

末光^{すえみつ} 翔^{しょう} (さいたま市出身)

3年前に大学のゼミで飯田を訪れて以来、不思議な活気のあるこの飯田に関わり続けたい、その一心で、何人かの学生で南信州サポーターと称し、様々な地域事業に関わっています。その中でも特に、つい先日ボランティアで参加した小学生交流キャンプは強く心に残るものでした。

飯田と品川の小学生、みんなの体験活動を見守りつつ、成長を促すという私たち大学生スタッフの関わりは重要なものでした。それだけに、子どもたちと上手く関われずもどかしく思うこともありました。

それでも飯田と品川の方々の、子どもたちへの思い、熱意に触発され、強く励まされました。なにより、下伊那の自然の中で小学生のみんなとりんごんに参加し、川遊びをし、農業体験をし、2泊3日のかけがえのない時間を過ごせたことに深い充足感を覚えています。

これらは、子どもたちのことを強く思う飯田の人と、それを受け入れる飯田・下伊那の自然・恵みがあってこそ、成立するものなのだと思います。また引き続き、飯田に関わり続けたいと思います。



りんごんにて